

令和2年度（前期）防災通信訓練を開催

国土交通省防災業務計画の規定に基づき、災害発生時に迅速かつ確実に防災通信回線が構築できるよう、三重ブロックにて訓練を実施しました。

- 開催日時 9月15日（火） 9:50 ～ 16:00
- 実施場所 桑名市立田町地先（城南防災ステーション、城南排水機場）
木曽川下流河川事務所、桑名市役所
- 参加機関 国土交通省本省、中部地方整備局、木曽川下流河川事務所、
三重河川国道事務所、北勢国道事務所、紀勢国道事務所、
蓮ダム管理所、桑名市役所、（一社）建設電気技術協会中部支部
- 訓練内容 操作技術習得訓練
被災自治体等との情報共有訓練
- 訓練参加者 約50人



会場全景（ヘリ映像）

●9:50～12:00 通信機器の操作技術習得訓練、対策本部車の設営訓練を行いました。



基本的な感染対策の徹底
（参加者の体調確認・体温チェック）



訓練開始の宣言
（木曽川下流河川事務所長）



衛星通信車



i-RAS, 25G無線機器の組立



Car-SAT（外観）



Car-SATの操作説明



公共BB（背負子）



対策本部車の設営訓練

令和2年度（前期）防災通信訓練を開催

●13:00～16:00

被害想定を基に、被災現場の映像（ヘリ映像、Car-SAT映像、ドローン映像、WEBカメラ映像）を各所に配信する訓練を行いました。また、各所との間でWEB会議訓練を行いました。

